

GSDM 履修生の短期派遣プログラムに関する規約

1. 支援の概要

GSDM に所属する修士・博士課程学生が国内または海外の国際会議において研究発表する場合、または自らの研究のための調査などで関係機関（大学・企業等）を訪問する場合に、GSDM における活動実績および出張計画に関する厳格な審査を経て支援する。

2. 応募資格

- (1) GSDM 履修生であること。
- (2) 国内または海外の国際会議において研究発表する者、または自らの研究のための調査などで国内または海外の関係機関を訪問する者であること。
- (3) 論文発表の場合は、発表する論文等の筆頭著者、または GSDM 関連指導教員と連名であること。
- (4) 出張に関し、指導教員からの許可が得られること。
- (5) 海外での国際会議に出席する場合は、関係機関（大学・企業等）へも自ら連絡を取り積極的に訪問することが推奨される。

3. 利用の回数

国内または海外の出張につき、年度内 1 回を限度として利用可能。審査に落ちた場合はその後も申請することはできる。

4. 支給額

- (1) 1 人あたりの旅費は原則 40 万円を上限とする。上限を超える申請については、申請内容を精査し、特別な事情を勘案して決定する。
- (2) 飛行機代、宿泊費、日当を支給する。ただし、やむを得ない場合を除き、海外出張では、宿泊費の上限を 17,000 円(欧米および中近東地区)、8,500 円(その他の地方)、国内出張では、宿泊費の上限を 8,200 円とする。日当の上限を 6,000 円(欧米および中近東地区)、4,500 円(その他の地方)、2,300 円(国内)とする。
- (3) 国際会議登録料は、上記の上限額とは別枠にて支給する。ただし、バンケット代は支給しないので差し引くこと。

5. 出張期間

- (1) 原則 2 週間以内とする。
- (2) 国際会議参加の場合は、会期プラス数日以内の現地滞在を原則とする。(ただし、用務が無い場合は、学会会期前後の現地滞在は認められない)
- (3) 国内の国際会議派遣出張期間は、学会会期以内の現地滞在を原則とする。

6. プログラム募集期間

このプログラムへの募集は 4 月末締切りの年 1 回とするが、10 月末を締切りとして若干名を追加採用する。

7. 提出書類と提出先

下記の書類を GSDM 事務局にメールにて送付すること。厳正審査の後、支援の可否について、事務局より連絡をする。

(1) 申請書類

- 1) 「GSDM 短期派遣プログラム申請書」
- 2) 出張理由を証明するもの(学会からのアクセプタンスレター、学会の期間や講演の記載ページなどプログラムのコピー)、訪問先とのやりとりを示す文書を添付すること。
- 3) 航空券代金を証明するもの。申請者はできる限り安価なエコノミー航空券の見積もりを大学生協か日本旅行からとること。承認を得るまで航空券は購入しないこと。特別な場合はプログラム事務局に相談すること。
- 4) 国際会議の登録料(学会参加費およびプロシーディングス代)も申請する場合は、国際会議登録料の内訳を証明するもの(学会 URL、プログラム中の記載ページのコピーなど)。
- 5) 学習履歴データベースの画面ハードコピー

(2) 支援決定後、出発前までの提出書類

- 6) 本学通常の出張書類。
- 7) 国際会議の登録料も申請する場合は、国際会議の登録料支払いを証明するもの(領収書、カード引き落としの証明書)。

(3) 帰国後 2 週間以内の提出書類

- 8) 発表論文の別刷またはプロシーディングスのコピー(出典が記載されたもの)。
- 9) 往復の搭乗券半券と、捺印した出張報告書(ハードコピー)およびその電子ファイル

(4) 報告書の内容

- 10) 以下の内容を含み A4 で 2 ページ程度。
 - ・ 国際会議および訪問先の要件の概要。
 - ・ 国際会議の場合は、自身の発表内容の概要。
 - ・ 訪問先での成果の概要。
 - ・ 出張に対する感想、その他出張の成果に関して特筆すべきこと。

8. その他

採択された場合、当該論文・会議録に GSDM の支援を明記し、謝辞を入れる(謝辞の例文は下記参照)。なお、やむを得ず謝辞記載が間に合わない場合も含め GSDM の成果についての公開発表会や報告書などにおいて、発表あるいは執筆などの協力をする。

[参考]

渡航支援に対する謝辞の例

(英文) The author (One of the authors (イニシャル)) was supported through the Leading Graduates Schools Program, “Global Leader Program for Social Design and Management,” by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology.

(和文) 著者は(著者の一人(イニシャル))は、文部科学省プログラム「社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム」による補助を受けた。

全般的な支援に対する謝辞の例

(英文) The present work (research) was supported (in part) through the Leading Graduates Schools Program, “Global Leader Program for Social Design and Management,” by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology.

(和文) 本研究の一部は、文部科学省プログラム「社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム」による補助を受けた。

以上